



強豪の伝統 脈々と

7/13 穂高商コンピュータ部 表敬訪問

全国高校情報処理競技大会への出場を決めた穂高商業高校のコンピュータ部員は7月13日、市庁舎に訪れ、大会での健闘を誓いました。同校は6月13日に長野市で開かれた県大会で団体優勝。個人でも部長の市川彩乃さんが優勝を果たしました。顧問の三宅浩一教諭は、「先輩の活躍を見て、いい流れができつつある。表敬訪問が恒例になれば」と話しました。市川さんは、「遅くまでみんなで練習した成果を発揮したい」と意気込みを語りました。



ふるさとの風景が切手に

7/15 安曇野オリジナル切手を発表

安曇野の自然を題材としたオリジナル切手が、中信地区の郵便局など103カ所で販売されています。販売日前の7月15日、市内6郵便局の局長が市役所を訪問。市長に切手を贈呈しました。市長は「多くの皆さんが使うことで安曇野のPRにつながる」と期待を話しました。切手で使われている写真は、市が提供したもので、5地域それぞれの景観を楽しめます。1シート(80円切手10枚)1,200円で、2,100シートの限定販売です。

30周年に 3,200人

7/25 あづみ野祭り

第30回の記念となったあづみ野祭り(実行委員会主催)が7月25日、豊科駅前通りと国道147号線で開催されました。オープニング直前には、大変な雨と風が吹き荒れましたが、30回の記念に復活した女神輿が始まるころには、集まった踊り手の熱気に押されたように雨がやみ、昨年より多い47連3,200人の踊り手が舞いました。また、まちづくり会館内には、祭りのこれまでを振り返るパネルなども展示され、見物の人たちが足を止めていました。

○踊り連コンテスト結果(一般・分館)

最優秀賞=ソニー V A I O・桜坂、優秀賞=安曇野市商工会・下飯田、敢闘賞=日本舞踊の会・真々部、ユーモア賞=文福・新田、アイデア賞=三郷太極拳・熊倉、一致団結まとまったで賞=三郷中1年4組・光、可愛いで賞=安曇野交通安全協会・踏入、心のふるさとで賞=豊科病院/安曇野メディア・殿村、エネルギーで賞=マイカル サティ・重柳

○山車の部コンテスト結果

第30回あづみ野祭り大賞=安曇野赤十字病院、郷土色優秀賞=大口沢 大和連、努力したで賞=新家公民館、綺麗で賞=和風すなっく 素顔



太陽がへこんでる！！

7/22 皆既日食

国内の一部地域で46年ぶりの皆既日食が観察された7月22日、市内でも部分日食を見ることができました。この日は前線の影響で曇り空でしたが、時々雲の間から顔を見せる太陽に、空を見上げる人の姿が見られました。

三郷文化公園では、2時間目後の休み時間に出てきた小学校の子どもたちが、日食めがねで太陽を見上げると、「おー見える見える!」「へこんでる!」と歓声を上げていました。クラスで観察に出てきた6年1組担任の佐原健治先生は、「もう少し晴れてくれれば良かったんですけど」と話しながら、流れる雲の合間に光を見つけると、子どもたちに声をかけて観察していました。

あいにくの曇り空ではありましたが、そのおかげで雲がフィルターになり、肉眼でも満ち欠ける月のような太陽を見ることができました。

夏だ! YOSAKOI だ!

8/2 信州安曇野わさび祭り

第26回信州安曇野わさび祭りが8月2日、穂高駅前通りなどで開かれました。夜の納涼祭は雨が降りやまず中止となりましたが、昼のYOSAKOI 安曇野は小雨が時折降るなか決行。県内外から参加した39チーム、1,500人が華麗に演舞しました。受賞チームは下記の通り。

◎YOSAKOI 安曇野賞=都咲喜(みさき)、信州安曇野わさび祭賞=信州大学YOSAKOI祭りサークル「和っしょい」、商工会青年部賞=大町 Bissawa レッツゴー舞隊、審査員特別賞=安曇野風楽楽鼓(あづみのふうがくらっこ)、秀麗(しゅうれい)、夜咲恋麗舞(よさこいれんぶ)、あんたが大将 MVP 賞=エディ&ゴンドサンボーイズ



小さな美術館に世界の目

7/15 東京藝大留学生在安曇野視察

東京藝術大学(宮田亮平学長)の留学生など51人が7月15日、市内を訪れ、安曇野がかかわる世界的な作品や美術館などを鑑賞しました。デザイン専攻の趙琰さん(中国)は、安曇野高橋節郎記念美術館を見学し終え、「伝統的な表現と現代的な表現の調和が素晴らしい。日本独特の空間に感動しました」と語りました。

東京藝術大学の学生との交流は、高橋節郎が同大教授であったことなどが縁で深まり、音楽部学生と中学生との楽器演奏指導などが毎年行われています。